

令和 8 年（2026 年） 3 月 9 日

関係大学長  
関係機関長 様

名古屋市立大学大学院人間文化研究科長  
久保田 健市（公印省略）

教員の公募について（依頼）

このたび、本研究科では下記の要領で教員を募集いたします。  
本研究科の臨床心理コースは、都市型総合大学の強みを活かし、本学医学研究科、附属病院等と連携し、医療領域の知識を活かしながら教育現場の様々な状況に対応できる心理職の育成を行っています。  
つきましては、この旨を関係学部・大学院等に広くお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属 名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 臨床心理コース  
(人文社会学部 心理教育学科)
2. 職名・人員 教授または准教授 1 名
3. 専門分野 臨床心理学
4. 担当予定科目 大学院：「臨床心理学研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「スーパービジョンⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「臨床心理基礎実習」、「臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ」、「学外実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「人間発達論特殊講義」、「臨床心理学特論Ⅰ」  
学部：「基礎演習」、「ESD 科目」、「専門演習 1・2・3・4」  
「臨床心理学概論」、「障害者・障害児心理学」、「関係行政論（オムニバス）」、「公認心理師の職責（オムニバス）」  
※ 採用者の専門・経歴に応じて担当科目は変更する場合があります。
5. 応募資格 以下に挙げる要件をすべて満たす者。
  - (1) 臨床心理士ならびに公認心理師の資格を有する者。
  - (2) 博士の学位を有する者。
  - (3) 障害者支援、子ども支援、家族・家庭支援のいずれかに関する研究業績および臨床経験がある者。
  - (4) 臨床心理コースや研究科の運営において中核的な役割を担う意思を有する者。
  - (5) 地域連携など、大学外での教育研修活動に意欲を有する者。
  - (6) 公認心理師「実習演習担当教員及び実習指導者養成講習会」を受講している者。あるいは大学（大学院及び短期大学を含む）において、教授、准教授、講師として、心理分野の教育に係る実習又は演習の教授に関し 3 年以上の経験を有し、本学着任後に同講習会を受講する意思のある者。
  - (7) 学内での業務および学生指導に意欲を有する者。
  - (8) 持続可能な社会の実現（sustainable development）という課題に関心があり、本学での ESD、SDGs に関係する諸活動を推進していく意欲を有する者。
6. 採用予定日 令和 8 年（2026 年）10 月 1 日以降できるだけ早い時期、  
あるいは令和 9 年（2027 年）4 月 1 日
7. 応募期限 令和 8 年（2026 年）5 月 12 日（火）（必着）
8. 提出書類 以下の書類およびデータを提出すること。
  - (1) 履歴書（別紙様式による A4 判）  
履歴書には証明写真を貼ること。最終学歴を証明する公的文書のコピーを添付すること。

- (2) 応募者記入用紙（別紙様式による A4 判）  
様式に従って競争的資金の金額も記入すること。
- (3) 研究業績目録（別紙様式による A4 判）  
著書・論文などのうち、主要なもの 5 点以内（以下「主要業績 5 点」）に○印をつけること。
- (4) 主要業績 5 点の概要  
様式自由で、概要は日本語 400 字以内の要約を作成すること。
- (5) 主要業績 5 点の原本等  
原本や抜き刷り、またはそのコピーを各 1 部
- (6) 本学での研究・教育における抱負（様式自由、A4 判 1 枚）
- (7) 臨床心理士資格ならびに公認心理師登録証明書（ID カードなど）のコピー。
- (8) 公認心理師実習演習担当教員・実習指導者養成講習会の修了証のコピー（未修了の場合は着任後に受講いただきます）。

※ 上記のうち、(1)(2)(3)(4)(6)(7)(8)は Word ないし Excel ファイルと、それらを PDF ファイルにしたデータを、最終学歴を証明する公的文書と(7)(8)は PDF ファイルにしたデータを、USB メモリに入れて同封してください（履歴書の PDF ファイルは写真を貼ったもの）。(5)はすべて PDF ファイルにし、同じ USB メモリに入れてください。

9. 提出先 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1 番地  
名古屋市立大学大学院 人間文化研究科長 宛

※ なお提出書類は、簡易書留で郵送、またはそれに類する方法で送り、封筒に「臨床心理学教員応募関係書類」と朱書きしてください。

10. 照会先 名古屋市立大学大学院 人間文化研究科  
照会は原則として e-mail でお願いします。  
(e-mail: recruit\_cp2026@hum.nagoya-cu.ac.jp)

11. その他

- (1) 名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、教員の採用、昇任においては、業績と能力が同等であるならば、女性を積極的に採用します。
- (2) 提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出された応募書類は、原則として返却しません（選考終了後に、適正に廃棄します）。なお、応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼り返送先を記した封筒を同封してください。
- (3) 選考の最終過程で面接を実施します（面接時の旅費は支給しません）。
- (4) 採用予定者となった場合には、名古屋市立大学病院で健康診断を受けていただきます。
- (5) 「履歴書」「応募者記入用紙」「研究業績目録」の別紙様式 A4 判は、「JREC-IN Portal」の当該求人公募情報のページ、または、人間文化研究科ホームページからダウンロードして下さい。
- (6) 本学は敷地内禁煙を実施しており、教職員には、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。
- (7) 本学の教員の定年は満 65 歳です。
- (8) 人文社会学部 心理教育学科は、令和 8 年（2026 年）度より心理学コースを設置し、学部から大学院までのシームレスな心理職養成を整備します。また、人間文化研究科 臨床心理コースは、令和 8 年（2026 年）度より入学定員を増やし、優秀な心理職を輩出していくことに一層注力していきます。本公募は、この取り組みの一環であり、臨床心理学を専門とする教員の増員計画（教授職の採用優先）です。
- (9) 選考スケジュールは、7月上旬に面接、8月中旬に全学会議での採用決定を予定していますが、応募状況または審査状況によっては、スケジュールに変更が生じる可能性があります。